

令和 4 年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

広い視野を持ち、心身共に健康で、創造性と実践力に富む、心豊かな児童の育成

(2) 具体目標

『時代を拓く日本人を育てる』

○ よく学び考える子・・・「学力の基礎・基本」の確実な定着

○ 思いやりのある子・・・「他者を思いやる心」の育成

○ たくましい子・・・活動の源となる「体力」の向上

挑戦したりやり抜いたりする「たくましさ」の育成

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立149年を迎え、歴史や伝統、豊かな自然や文化によって培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全教職員が連携・協働し、充実した教育環境のもと、本校の教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員が教育への情熱と使命感をもち、児童・保護者・地域住民と協和し、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域や企業とも相互理解を深め、地域の教育資源を活用しながら、知・徳・体のバランスのとれた力、挑戦したりやり抜いたりするたくましさ、自らの夢の実現や社会貢献を指向する志をもった児童の育成に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- 楽しく居がいのある学校づくり・・・善い行いや努力を見取り励ます
- 生きる力を育む教育実践・・・体験活動や読書活動の充実
- 社会性の育成・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（宇都宮モデル）
 - ・ 地域とともにある学校づくり・・・郷土への愛情を育む学習の推進
 - ・ 資質向上の自己研鑽と教育環境の整備・・・GIGAスクール構想の更なる推進
 - ・ 働き方を意識した校内業務の適正化・・・明確化、効率化、簡略化

[古里地域学校園教育ビジョン]

夢や目標をもち、その実現に向けて、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身につける児童生徒の育成。

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領、栃木県教育委員会施策、宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い、本校教育課程を編成する。
- (2) 令和4年度の本校の教育目標の実現を目指して、各教科で育む資質・能力や目標・内容を明確化するとともに、地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し、特色ある教育課程を編成する。

<読解力や問題発見・解決能力などの学習の基盤となる資質・能力の育成>

- ・ 言語能力の育成を図るため、必要な言語環境を整えるとともに、児童の言語活動を充実すること。また、読書活動を充実させ語彙を増やす。
- ・ コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

<p>【 学 校 運 営 】・児童も教師もいきいきと活動する学校，児童も教師も成長する学校，地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」</p> <p>○感染症対策を講じ，教育活動を工夫しながら知・徳・体のバランスのとれた力の育成</p> <p>・教職員が児童と向き合う時間を十分かつ適切に確保するため，積極的に業務改善に取り組む組織づくりの推進（日課の改善，資料のペーパーレス化，ITの効果的活用による事務処理・会議の効率化等）</p> <p>【 学 習 指 導 】・一人一人が主体的に取り組み，いきいきと学び合う児童の育成 ～ 基礎・基本の定着を図り，表現力を高める言語活動の工夫 ～</p> <p>【 児 童 生 徒 指 導 】・一人一人が自信をもち，共に支え合いながら，生き生きと活動する児童の育成</p> <p>【健康（体力・保健・食・安全）】・生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し，体力や健康に関する知識や技能を身に付け，自他の生命を尊重しながら，安全な生活を営む児童の育成</p>

6 自己評価（評価項目のAは市共通，Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価															
目 指 す 児	<p>A 1 児童は，進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は，授業中，話をしっかりと聞いたり，発表したりするなど，進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 授業の中に学びあいの活動を取り入れ，課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。</p> <p>② 「話し方の例」や「声のものさし」を掲示し，基本的な学習態度・技能の育成に努める。</p> <p>③ 「<u>白沢小学習の約束</u>」や<u>古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」</u>を配布し，<u>家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u></p> <p>・児童一人一人の学力の向上のため，自主学習の例を掲示する。</p> <p>・学年に応じた家庭学習が習慣化できるよう指導していく。</p> <p>・家庭と連携を図り，保護者の意識を高めていく。</p>	方 向 性	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A 1</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>90.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 1	R 3	R 4	児童	90.0%		教職員	95.5%		保護者	89.9%		地域住民		
	A 1	R 3		R 4															
児童	90.0%																		
教職員	95.5%																		
保護者	89.9%																		
地域住民																			
<p>A 2 児童は，思いやりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 道徳において，相手の気持ちを考えたり，その時の自分の行動を考えたりする授業を実践していく。</p> <p>② 他の児童が行った，思いやりの行動を「ありがとうのふわふわ雲」に掲示することで，児童同士が互いのよさを認め合えるようにする。</p> <p>③ 異学年の交流活動等を計画的に設定し，児童の思いやりの心を育てる。</p> <p>・「なかよしタイム」や昼休みの活動 1年生となかよく遊ぼう集会，（古里地域学校園，児童会による）あいさつ運動，運動会スローガン，歳末助け合い，感謝の会，6年生を送る会</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>85.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>94.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 2	R 3	R 4	児童	85.2%		教職員	100.0%		保護者	88.9%		地域住民	94.7%			
A 2	R 3	R 4																	
児童	85.2%																		
教職員	100.0%																		
保護者	88.9%																		
地域住民	94.7%																		

童 の 姿	<p>A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、決まりやマナーを守って、生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 本校の生活目標を明確化した「すてきな虹色白沢っ子」を活用し、スマールステップで目標を達成できるようにする。また、月目標の提示方法や重点チェック期間、振り返り方を見直し、児童一人一人が「守ろう」という意識を高める工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下の歩行（教室移動時・休み時間） ・終業のあいさつと次時の準備 ・遊び方の共通理解 ・清掃中、清掃後の指導の徹底 ・良かった点を朝会等で称賛する。 ・児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかける。 <p>② 各種便りを通して、重点目標への取組や児童の変容などを保護者や地域に周知し、児童の意識を高めたりして、家庭や地域と連携を図りながら指導していく。</p> <p>③ 生活のきまりや学習のきまり等の掲示物を作成し、児童の意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活を送れるよう教職員が一体となって児童の育成に当たり、指導と振り返りを繰り返し行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間の過ごし方 ・授業の始まりの準備 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>A 3</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>77.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>89.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 3	R 3	R 4	児童	77.2%		教職員	95.5%		保護者	89.4%		地域住民	100.0%	
	A 3	R 3	R 4															
	児童	77.2%																
教職員	95.5%																	
保護者	89.4%																	
地域住民	100.0%																	
<p>A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 古里地域学校園や児童代表委員会を中心とした朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。</p> <p>② 児童会による声を出してのあいさつ運動を継続するとともに、学級での指導として、会釈というあいさつの方法があることを成長段階に応じて指導し、あいさつの習慣化を図る。</p> <p>③ 教職員が様々な場面で率先してあいさつする姿を見せることで、子どもへの意識化を図る。</p> <p>④ 本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会等で保護者や地域の方々に周知する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が自ら主体的にあいさつできるように、あいさつの習慣化、意識化、実践化に取り組んでいく。 ・家庭でも児童のあいさつ習慣が身に付くよう協力をお願いしていく。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>A 4</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>90.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>90.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>83.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 4	R 3	R 4	児童	90.8%		教職員	90.9%		保護者	83.0%		地域住民	100.0%		
A 4	R 3	R 4																
児童	90.8%																	
教職員	90.9%																	
保護者	83.0%																	
地域住民	100.0%																	
<p>A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 繰り返し学習したり、少し難しい学習に挑戦したりする場を意図的に作り、児童の意欲の向上や達成感に繋げるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートの有効活用 <p>② グループやクラス・学年で目標をもち、自分たちの力で最後まで取り組むことで、達成感や成就感を味わわせる。また、最後まであきらめずに取り組めたことを認め励ましていく。</p> <p>③ 児童の自己肯定感を高められるよう、児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <tr> <td>A 5</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>90.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>86.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>81.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 5	R 3	R 4	児童	90.8%		教職員	86.4%		保護者	81.3%		地域住民			
A 5	R 3	R 4																
児童	90.8%																	
教職員	86.4%																	
保護者	81.3%																	
地域住民																		

A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。
【数値指標】
全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」
⇒児童の肯定的回答 85%以上

- ① 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通じた安全教育を推進する。
- ② 健康について児童が実感を持って理解できるように体力チェックや生活アンケートの活用し、保健学習や学級活動における項目内容を充実させる。
- ③ 地域や保護者と連携して感染症対策の徹底を図るとともに、その他の安全教育も委員会活動とタイアップしながら、児童主体の活動として継続する。保健委員会では安全面、体育委員会では怪我の予防等、児童が健康・安全を意識できるような取組を充実させる。

【達成状況】

A 6	R 3	R 4
児童	88.4%	
教職員	100.0%	
保護者	91.6%	
地域住民	100.0%	

【次年度の方針】

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。
【数値指標】
全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」
⇒児童の肯定的回答 85%以上

- ① 学級活動や児童会活動、縦割り班活動（児童会・清掃・給食）等において、児童一人一人が集団の一員としての自覚や責任をもち、互いに協力することのよさや自分のよさについて感じることができるよう、活動内容を工夫する。
- ② 感染症対策を十分に行い、地域の人材・施設等を可能な限り活用し、多くの人や考え方に触れる機会を増やす。
- ③ 地域人材やボランティアを活用し、仕事や職業観についての話を聞く機会や体験的活動を設定して、学習や生活と職業とを関連付ける。
・とちぎ国体観戦（4～6年）
・町探検（2年）
・キャリアパスポートの有効活用

【達成状況】

A 7	R 3	R 4
児童	90.8%	
教職員	86.4%	
保護者	81.3%	
地域住民		

【次年度の方針】

A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。
【数値指標】
全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」
⇒児童の肯定的回答 85%以上

- ① 授業において、担当する教員が自ら積極的に英語を使う授業を展開するとともに、ALTを積極的に活用し、英語によるやり取りを行う活動を設定する。
- ② ALTによるお昼の校内放送や休み時間の交流を行い、児童が英語に触れる機会を設ける。
- ③ 外国語担当教員を中心に子どもたちの多様な活動の中で外国語が目につけるよう、校内掲示を充実させる。

【達成状況】

A 8	R 3	R 4
児童	88.4%	
教職員	86.4%	
保護者		
地域住民		

【次年度の方針】

A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。
【数値指標】
全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」
⇒児童の肯定的回答 80%以上

- ① 宇都宮学に関するテキストを積極的に活用し、児童に宇都宮の良さを発信していく。
授業や、市内や地域での校外学習等の機会を生かす。
・生活科、社会科、総合的な学習の時間の授業や、市内や地域での校外学習等の機会を生かす。
・3、4年社会科
・5、6年総合的な学習の時間
- ② 郷土に対する誇りや愛情をもてるよう、身近な自然や文化について、生活科・社会科・総合的な学習・特別の教科道徳の授業において学ぶ機会を充実させる。
・宇都宮市の歴史、文化、伝統産業、特産物等について理解を深められるよう学校便りやホームページ等で保護者や地域の方々に周知する。

【達成状況】

A 9	R 3	R 4
児童	85.6%	
教職員	77.3%	
保護者	53.4%	
地域住民		

【次年度の方針】

	<p>A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 一人一台貸与される端末を多様な場面で積極的に活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親しむ機会を設定する。</p> <p>・GIGAスクール構想の実現のため授業研究を推進し、一人一台端末を活用した主体的・対話的で深い学びの実現に取り組む。</p> <p>② 一人一人の習熟の程度に応じた学習や知識・技能に取り組む等、個に応じたICT機器の活用について理解を深められるよう学校便りやホームページ等で保護者や地域の方々に周知する。</p> <p>③ 市図書館等の貸出を利用し、必要な図書資料を豊富に準備し、学習に活用する。</p> <p>④ 読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A10</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>89.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>74.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A10	R3	R4	児童	89.2%		教職員	100.0%		保護者	74.5%		地域住民		
A10	R3	R4																
児童	89.2%																	
教職員	100.0%																	
保護者	74.5%																	
地域住民																		
	<p>A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒地域住民及び教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 老人会による緑化活動を実施し、高齢者を身近な存在として受け止め、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。</p> <p>② ①の活動が難しい場合は、敬老の日近辺に、学級活動や生活科、総合的な学習、児童会活動などを通して、今の社会が成り立っているのは先人の努力があるからであることを伝え、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。</p> <p>③ 体験活動と関連を図った総合的な学習の時間や道徳科の授業を実施し、高齢者に対する感謝やいたわりの心を涵養する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A11</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>85.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>88.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>94.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A11	R3	R4	児童	85.2%		教職員	100.0%		保護者	88.9%		地域住民	94.7%	
A11	R3	R4																
児童	85.2%																	
教職員	100.0%																	
保護者	88.9%																	
地域住民	94.7%																	
	<p>A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「この学校の友達は、水や電気を大切にしたり、植物や動物を大切にしたりしている」 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 生活科・総合的な学習・理科・社会等、地域の自然・文化等を課題とした学習を、地域の方と連携し展開する。</p> <p>・各教科で学習した取組について実践できる機会を意図的・計画的につくっていき、児童の持続可能な社会への参画を視覚化し見取っていくようする。</p> <p>② 企業の出前講座や委員会活動等、さまざまな機会をとらえ、SDGsの取り組みと関連付け、環境問題や防災等について、知る機会を増やしていく。</p> <p>・過去の災害の具体事例から学ぶ機会を設けるなど、防災教育を充実させる。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A12</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>85.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>40.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A12	R3	R4	児童	85.2%		教職員	40.9%		保護者			地域住民		
A12	R3	R4																
児童	85.2%																	
教職員	40.9%																	
保護者																		
地域住民																		
<p>目指す学校の</p>	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 校内支援委員会等により組織的な対応に努め、一人一人のニーズを踏まえ、児童に必要な支援について定期的に検討する。</p> <p>② 特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の支援計画を作成・活用して、学校全体として指導に当たる。</p> <p>③ 毎月、特別な支援が必要な児童の情報交換を定期的に行い、共通理解を図り、学校全体で対応をしていく。</p> <p>④ SCや他の外部機関と連携し合って、個に応じたよりよい支援の在り方について考え、指導に生かしていく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A13</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A13	R3	R4	児童			教職員	100.0%		保護者			地域住民		
A13	R3	R4																
児童																		
教職員	100.0%																	
保護者																		
地域住民																		

姿	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図り、全教職員が「いじめはどの児童にも、あらゆる場面で起こりうる」、「いじめは許されない行為である」という共通認識のもと、日常的に指導していく。</p> <p>② 日常会話や教育相談週間等を通して児童との信頼関係を築いていく。 ・教育相談の活用</p> <p>③ いじめを未然に防ぐことを目的とした自己肯定感を高める活動を充実していく。 ・学級経営の充実</p> <p>④ 様々な場面でいじめの不当性を指導するとともに、道徳の授業等により児童の心を育てる。また各種便りやHP等の呼び掛けにより、家庭と連携を図り保護者の意識も高めていく。 ・道徳教育の充実</p> <p>⑤ なかよしタイムや昼休み等、教員による巡視を実施し、いじめにつながるトラブル等の未然防止に努める。</p> <p>⑥ いじめ防止に関する資料や学校での取組を、懇談会や学校便り、HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A 1 4</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>97.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>72.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>93.8%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 1 4	R 3	R 4	児童	97.2%		教職員	100.0%		保護者	72.0%		地域住民	93.8%	
	A 1 4	R 3	R 4															
	児童	97.2%																
教職員	100.0%																	
保護者	72.0%																	
地域住民	93.8%																	
<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスを作ってくれる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>① 児童のよさを称賛したり、一人一人が活躍できる場を設定したりし、児童が自己肯定感をもち、安心して生活できるような学年・学級経営に努める。</p> <p>② 担任だけでなく、学校組織として児童の状態を把握し、教育相談やQ-U等の結果の活用しながら支援策を検討し、児童への適切な支援に繋げる。</p> <p>③ 「できた」「分かった」が繰り返されるなど、授業が児童にとって楽しい時間となるよう努める。</p> <p>④ 職員会議後等に不登校対策やいじめ対策を兼ねて、児童指導について情報交換会を実施し、全職員が情報を共有する。</p> <p>⑤ 不登校対策委員会を開き、学校全体で対策していく。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A 1 5</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.4%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>86.9%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 1 5	R 3	R 4	児童	96.4%		教職員	100.0%		保護者	86.9%		地域住民			
A 1 5	R 3	R 4																
児童	96.4%																	
教職員	100.0%																	
保護者	86.9%																	
地域住民																		
<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 言語・文化の違いを理解し、児童への、日本語の指導を行うとともに、学級での温かな雰囲気づくりに努める。</p> <p>② 保護者のニーズを把握し、通訳や翻訳の必要性を相談し、保護者の学校理解がなされるよう努める。</p> <p>③ 特別な支援を必要とする児童に対して、かがやきルームや日本語指導教室を活用し、適切な支援を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A 1 6</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	A 1 6	R 3	R 4	児童			教職員	100.0%		保護者			地域住民			
A 1 6	R 3	R 4																
児童																		
教職員	100.0%																	
保護者																		
地域住民																		

A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。
【数値指標】
全体アンケート「自分は今の学校が好きである」
⇒児童の肯定的回答 90%以上

- ① 児童の自己肯定感や主体性をさらに高めるために、各行事や児童会活動、クラスで協力する活動（長縄・ドッジボール大会・ロング昼休みを活用したクラス遊び等）において主体的に活動できる場を設定していく。
・児童が主体的に取り組む場や機会を、意図的・計画的に、学校行事や特別活動等で実施する。
・居がいのある学級づくりを目指し、予防的・計画的な学級経営を行う。
- ② 児童の心の安定や居がいのある学校づくりのため、児童と教師の関わりをさらに深め、児童に寄り添い、児童を肯定的に捉えていく。
- ③ あいさつ運動を通して、児童が主体的に他者との関わる機会を設定することで明るい雰囲気をつくる。

【達成状況】

A17	R3	R4
児童	87.6%	
教職員	95.5%	
保護者	87.3%	
地域住民	100.0%	

【次年度の方針】

A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。
【数値指標】
全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」
⇒児童の肯定的回答 90%以上

- ① 基礎力を養う朝の学習を計画的に実施するとともに、読解力や語彙力、文章力等の向上を図る言語活動の取組を教職員共通理解のもと実践し、学力向上につなげていく。
- ② 教員の指導力向上に向けた授業研究を行い、指導方法の工夫・改善や指導力の向上を図り、きめ細かな指導を実施する。
・一人一授業公開。
・授業改善チェックリストの活用。
・ヒントカードや教材提示の工夫。
- ③ 少人数習熟度別指導の特性を生かした指導方法の工夫（個別支援や学び合い活動等実態に応じた指導）を取り入れることにより、学力の向上を図る。
・実物投影機や大型テレビ、デジタル教材、タブレット端末等、ICT機器の活用。教材の工夫。体験活動の活用。
- ④ ノートやワークテスト、プリントなどに励ましやアドバイス・コメントなどを入れる等、児童一人一人の学習への意欲を高める。

【達成状況】

A18	R3	R4
児童	97.2%	
教職員	100.0%	
保護者	82.7%	
地域住民		

【次年度の方針】

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケート「学校に関わる教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」
⇒教職員の肯定的回答 85%以上

- ① 学校図書館司書業務嘱託員、学校栄養士、かがやきルーム指導員、ALT、スクールカウンセラー等と、打ち合わせや情報交換の時間を確保するとともに、学校に関わる教職員どうし日常的な情報共有に努め、コミュニケーションを図っていく。
- ② 職員会議や学年会等での児童の情報交換を密にし、共通理解を図る。
- ③ 困難を感じる業務について気軽に相談し、助け合える雰囲気を大切にしよう。

【達成状況】

A19	R3	R4
児童		
教職員	95.5%	
保護者		
地域住民		

【次年度の方針】

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。

【数値指標】

全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」
⇒教職員の肯定的回答 80%以上

① 業務の効率化が図れる取組を積極的に取り入れ、時間内に業務が遂行されるよう、計画的・組織的に取り組めるようにしていく。

・ねらいを踏まえた学校行事の実施及び月や週のバランスを踏まえた教育課程の編成。

② 教職員の専門性を生かすとともに、校務分掌の主任のみが活動するのではなく、組織的な取組となるよう、教職員の連携を強化していく。

・教職員の意識の高揚やリフレッシュデーを設定したりするなど、ライフワークバランスを踏まえた改善。

③ 出退勤時間の管理により、教職員が時間を意識できるようにする。

・毎週「金曜日課」の設定。
・定時退勤日を月に2回以上設定し、勤務終了時刻での退勤の徹底。

④ 学習情報システム「ミライム掲示板・黒板」等を活用した業務の効率化。

⑤ 職員会議等の協議事項を精査して時間の短縮を図ったり、学校行事等の見直しを行う、学校運営の改善。

【達成状況】

A 2 0	R 3	R 4
児童		
教職員	86.4%	
保護者		
地域住民		

【次年度の方針】

A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。

【数値指標】

全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」
⇒保護者の肯定的回答 80%以上

① 地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、連携を図る。

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3密を避ける指導を継続し、児童の安全・安心を第一に、課題の達成に向けた取組を継続するとともに、活動を精選し質を高めていく。

② 小中一貫・地域学校園の学校での取組の様子を、懇談会や学校便り、HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。

③ 給食における地域学校園統一の献立やおにぎりの日を実施する。

④ 「地域学校園の日」を活用して研修や情報交換を行い、地域学校園全体での共通課題の達成を目指す。

・古里地域学校園「生活のきまり」
・自主学习推進
・学習のきまり

【達成状況】

A 2 1	R 3	R 4
児童	85.6%	
教職員	95.5%	
保護者	77.6%	
地域住民	94.1%	

【次年度の方針】

A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。

【数値指標】

全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」
⇒地域住民及び保護者の肯定的回答 85%以上

① 生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験、地域の施設を活用した行事等、地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施していく。

・読み聞かせ（ぶどうの会）
・農業体験（田植え、稲刈り）（グラウンドワーク西鬼怒）
・町探検ボランティア

・ミシンボランティア
・校内水泳記録会（ドリームプールかわち）等

② P T A 学年委員や地域コーディネーターと連携して、活動内容の充実を図る。

③ 「ぶどうの会」を活用し、図書館の環境整備や本の修繕を通して、図書館経営の充実を図る。

【達成状況】

A 2 2	R 3	R 4
児童	87.6%	
教職員	100.0%	
保護者	84.5%	
地域住民	100.0%	

【次年度の方針】

A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。
【数値指標】
全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」
⇒地域住民及び保護者の肯定的回答 85%以上

- ① 交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。
・環境教育 ・モノづくり教室
・上下水道お届けセミナー
・薬物乱用防止教室
・人権教室 ・リコーダー教室
・歯の健康教室 等
- ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、学校運営の充実を図る。
・体験活動
・安全ボランティア
・放課後子ども教室
- ③ 外部団体と連携した授業の様子は、学校便り、HP等で積極的に分かり易く家庭・地域へ情報を発信していく。

【達成状況】

A 2 3	R 3	R 4
児童	87.6%	
教職員	100.0%	
保護者	84.5%	
地域住民	100.0%	

【次年度の方針】

A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。
【数値指標】
全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」
⇒教職員・保護者の肯定的回答 90%以上

- ① 日常的な点検・定期的な安全点検を実施し、教職員が組織的に施設・設備についての維持管理を行うとともに、改善が必要な個所については、迅速に対応する。
- ② 機動班、学校業務嘱託員と十分連携を図りながら、施設修繕を行い安全の確保に努める。
・危機管理マニュアルの整備。
・避難訓練や引き渡し訓練等を通じた、火事、地震、竜巻、不審者侵入等の不測の事態への備え。
- ③ 学校行事等の特別な活動時においては、臨時的な安全面の点検を実施する。
- ④ 熱中症予防対策、インフルエンザ予防対策など、時期に応じた保健指導管理に努める。

【達成状況】

A 2 4	R 3	R 4
児童	100.0%	
教職員	93.3%	
保護者	100.0%	
地域住民		

【次年度の方針】

A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。
【数値指標】
全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」
⇒教職員の肯定的回答 80%以上

- ① 一人一台貸与される端末を多様な場面で積極的に活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親しむ機会を設定する。
・論理的な思考力（プログラミング的思考力）を高める。
- ② 学習内容に関連する図書を整備していく。
・授業に関連する図書資料の準備。
- ③ 地域学校園内の図書室の蔵書を借りる等して、学習で活用できるようにする。
・読書の時間や読み聞かせの時間、図書だよりの発行などを通して児童の読書意欲を喚起する。
・「めざせ1万5千冊」運動
- ④ 教職員が、積極的にICT機器を取り入れた授業を実践するとともに、効果的なICT機器の活用法を考える校内研修等を実施する。
・ホームページを活用して、児童が活動する姿を積極的に発信する。

【達成状況】

A 2 5	R 3	R 4
児童	89.2%	
教職員	100.0%	
保護者	74.5%	
地域住民		

【次年度の方針】

本校の特色・課題等	<p>B1 児童は、学校行事や縦割り班活動等を通して、コミュニケーション能力を身に付け、リーダーシップを発揮している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、宿泊学習や運動会などの行事、たて割り班や清掃などの活動に、みんなで協力して取り組んでいる」⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上</p>	<p>① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員が共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異学年の交流活動を上級生がリーダーになって主体的に行い、思いやりの心を育てる。 ・たて割り班による清掃活動。 ・新体カテスト ・読み聞かせ ・1年生となかよくあそぼう集会 ・運動会等 <p>② 班対抗のゲームや活動を取り入れて、継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たて割り班による共遊。 ・各委員会との連携 等 <p>③ 積極的な情報の発信・提供に努め、地域に開かれた学校の実現に取り組み、地域に根差し、地域から信頼される学校づくりを推進していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を生かした教育活動。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>B 1</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	B 1	R 3	R 4	児童			教職員			保護者			地域住民		
	B 1	R 3	R 4															
児童																		
教職員																		
保護者																		
地域住民																		
<p>B2 新型コロナウイルス感染症対策並びに新しい生活様式を意識して教育活動を進める。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「学校は感染症対策並びに新しい生活様式を意識しながら教育活動を進めている」⇒教職員・保護者・地域の肯定的評価 80%以上</p>	<p>① 手洗いや消毒などの新型コロナウイルス感染症対策の環境づくりをし、児童自身が積極的に取り組むよう声掛けを行う。</p> <p>② 三密を解消するために、今までの教育活動を見直し、工夫をしながら全職員の共通理解のもと諸活動を進めていく。</p> <p>③ 活動後の石鹸による手洗いや、アルコールによる消毒、マスク着用など、新しい生活様式を意識した生活ができるよう各教室で十分指導するとともに各種便り・HPを通し、地域や保護者に発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食委員会や保健委員会、放送委員会で、手洗い・マスクの着用・窓開けの呼びかけ等を行い、児童に健康への意識付けを行う。 ・学校便り、学年便り、保健便り、ホームページなどで地域や保護者に積極的に発信する。 	<p>【達成状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>B 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td> <td>96.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>94.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域住民</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【次年度の方針】</p>	B 2	R 3	R 4	児童	96.8%		教職員	100.0%		保護者	94.3%		地域住民	100.0%		
B 2	R 3	R 4																
児童	96.8%																	
教職員	100.0%																	
保護者	94.3%																	
地域住民	100.0%																	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

--

7 学校関係者評価

--

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

--